

オバマ大統領、一般教書演説において議会に大学関連対策を求める（1月24日）

オバマ大統領は1月24日に行った一般教書演説において、議会に対し、労働者の再訓練に向けた投資と大学授業料の減額を目指す政策を実施するよう求めた。具体的には、コミュニティカレッジにおける職業訓練プログラムの拡充、授業料税額控除の延長、連邦勤労修学プログラム（Federal Work Study program）が適用となる職の倍増などを求めた他、7月に予定されている学生ローンの利率倍増の阻止や、非登録外国人の学生に対して市民権獲得の道を提供するドリーム法案（Dream Act）の可決などを行うよう求めた。また、基礎研究の重要性についても触れ、これに対する連邦支援を骨抜きにしないよう求めている。

なお、一般教書演説の全文は

<<http://www.whitehouse.gov/the-press-office/2012/01/24/remarks-president-state-union-address>>から閲覧可能。

The Chronicle of Higher Education, *Obama Highlights Education's Role in Reaching National Policy Goals*

<http://chronicle.com/article/article-content/130447/>